

# 災害対応拠点の電力確保対策 による災害応急対策活動への支 障解消（北海道網走市）

事業者：国土交通省 北海道開発局 網走開発建設部

I-1 大規模な浸水、土砂災害、地震・津波等による被害の防止・最小化

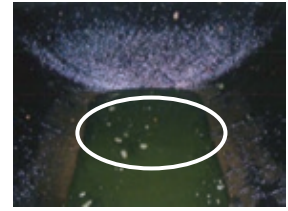
## 実施内容



自家発電機へ燃料を供給するタンクの更新

配管更新

## 危険箇所



燃料タンク内のスラッジ（錆・油分等）により配管詰まりが発生するリスク



腐食により燃料供給が途絶するリスクのある配管



I-2 救助・救急、医療活動などの災害対応力の確保

**対策名：** No.75 国土交通省の庁舎自家発電施設の緊急対策

**事業名：** 網走開発建設部自家発電施設改修工事

- ポイント**
  - 3か年緊急対策により早急に自家発電施設改修工事を実施
  - 災害応急対策活動への支障のおそれを解消

### 地域の概要・課題

北海道開発局庁舎は、災害発生時に災害応急対策の活動拠点となる施設です。

平成30年北海道胆振東部地震による北海道全域の停電等を踏まえ、庁舎自家発電施設の状況について点検を実施した結果、災害対応拠点としての機能維持に支障を及ぼしうる危険箇所が判明しました。

### 事業の概要

北海道開発局網走開発建設部の庁舎自家発電施設について、燃料タンク及び配管の老朽化が著しく、大規模災害発生時に燃料供給が途絶するリスクがあったことから、3か年緊急対策として、自家発電施設改修工事を実施しました。

### 【見込まれる効果】

防災上必要な非常用電力が確保されており、大規模災害等が発生し商用電源の供給が途絶した際も、支障なく災害応急対策を実施できます。

網走開発建設部は、防災対応拠点としての機能を確保し、保有する人員、資機材、災害協定等を活かして、国・地方公共団体が行う災害対応全体に貢献します。

網走開発建設部  
管轄区域：オホーツク管内（3市14町1村）  
総面積：10,691km<sup>2</sup>（新潟県と同程度）



I-3 避難行動に必要な情報等の確保